

令和3年度事業報告並びに附属明細書の承認について(決議事項)

# 令和 3 年度 公益財団法人網走監獄保存財団事業報告書

## 令和 3 年度の総括

昭和 58 年の博物館網走監獄 開館から 39 年目となった令和 3 年度、昨年を引き続き新型コロナウイルス、第 5 波第 6 波と国内に蔓延し感染拡大防止による外出自粛と緊急事態宣言により臨時休館を余儀なくされ、通算 35 日間の臨時休館となりました。更に 2 月の猛吹雪による国道通行止めで 2 日の臨時休館など合わせて開館日数は 327 日、有料入館者数は、131,889 人令和 3 年度入館者目標 15 万人には及ばないものの、対前年比 117.4%となりました。収益事業もミュージアムショップ事業・監獄食堂・賃料収入・販売委託手数料合わせて、予算に対して 103.6%となり、公益事業・収益事業両収入は令和 3 年度計画を上回ることができましたが、入館者目標は達成することが出来ず、厳しい状況は依然続いております。

しかし、国の持続化給付金、文化庁の感染対策補助金、雇用調整助成金を申請し、職員はじめ臨時職員を全員解雇することなく運営し、各地から訪れてくださる来館者にマスク着用義務、施設消毒、入館者数の制限など徹底し、コロナ感染者を博物館からだすことなく 3 年度事業を終えることができましたことをご報告申し上げます。

博物館網走監獄は、令和 4 年 7 月開館 40 年を迎えます。また、5 月末には通算有料入館者 1300 万人達成が迫っております。記念すべき節目の年におきましても、より良き博物館、誰にでも開かれたユニバーサルミュージアムを目指し施設の整備、そして保存公開する旧網走監獄、旧網走刑務所建造物を国民共有の歴史文化遺産として護り、コロナ禍を通じて博物館の多様性を認識し変化していくものと守り続けなければならないものを整理し事業計画を進めていく所存です。

文化財建造物保存におきましても平成 31 年度耐震専門診断事業が終了となり様々な角度から調査を行い、その結果に基づいた補強計画案を作成したところです。本事業につきましても、重要文化財耐震補強準備積立金として 7000 万円積み増し致しました。令和 4 年 3 月末積立金は 1 億円 7000 万円となり、目標の令和 10 年まで積立金を積み増し実施設計の準備を進めます。

本年度も新型コロナウイルスにより海外からの入館者も予想できない厳しい状況が続きますが、40 年ぶりに入館料の改定に踏み切り、入館料収入の増加が見込まれます。今後も永続的に事業存続するために役職員一丸となって困難な状況に立ち向かっていく所存です。

以下、令和 3 年度の重要課題別に事業詳細を報告いたします。

## 1 重要文化財の保存と価値を高める活用を図る

平成 28 年 2 月に国の重要文化財に指定された 2 件 8 棟の重要文化財は、耐震専門診断が終了して 3 年が経過しました。何れの重要文化財も耐震補強を施さなければならぬ診断結果がだされており、令和 3 年度において、耐震補強工事を具体的に進めるための資金準備や補強方法の検討を始めました。一方でコロナウイルスが収束しない中、来館できないお客様に文化財をどのように知って頂くか、オンラインやデジタル映像で魅力的に配信するかなど、博物館の文化財を記憶から遠ざけないための情報発信に力を注ぎ、耐震補強工事まで重要文化財を守り、安全に活用するための事業を実施いたしました。

(1) 重要文化財建造物を災害から守り、最小限に被害を食い止めるには、48 時間の対応が非常に重要と提唱されています。

文化財建造物と来館者を守るために緊急放送設備を館内に整備いたしました。  
この緊急放送設備設置に伴い、緊急放送アナウンスも多言語を用意しました。

(2) 重要文化財の維持にかかる防災体制の確立に取り組み、10 月の北海道重要文化財月間に網走消防署、呼人消防団にご協力を頂き、二見ヶ岡を火災出火場所に想定、放水や避難誘導、消火器を用いての消火活動など総合防災訓練を実施いたしました。引き続き、職員には防火設備の点検と避難誘導などの日常管理に一層注視し、木造建造物の保存管理に努めてまいります。

(3) 建物見守り隊事業は、博物館友の会会員による「建物見守り隊」を結成し北海道文化財活用月間の 10 月に、建造物の清掃、イベントを実施しました。網走監獄の加算食は農作業を遅くまで行った受刑者に食べることが許された「でんぷん団子」です。

その団子を二見ヶ岡農場の食堂を利用して来館者に振る舞いました。

あわせて展示解説、豆わらじ作り体験なども実施しました。友の会会員も見守り隊の使命を認識し、重要文化財は網走市の宝であり守り続けていく責任があると理解し積極的に活動してくださいました。今後も重要文化財デーのイベントを強化してまいります。

(4) 耐震補強案工事実施に向け、事業時期、工期、特別積立金などの計画にとりかかり、積立金 7,000 万円を積み立ていたしました。

## 2 充実した博物館の運営を図る

コロナウイルス禍の中の博物館は、従来の人と物を結び、生涯学習活動の拠点、交流の場として機能出来なくなり、博物館も変化し続けた一年でした。実物に触れる楽しさや新たな発見、気づきを来館者に与えられない状態の中、お家ミュージアム、バーチャルミュージアムがホームページ上で展開されました。当館においても、ガイドツアーの代わりにワークブックを作成し、各教育機関にお配りしました。またブログで建物シリーズを載せるなど実際に網走監獄に来館しなくても、博物館と繋がることのできるような方策を模索いたしました。ソーシャルディスプレイが推奨され、体験展示が制限の中、見学においても、満足度を上げることができるよう、ユニバーサルミュージアムを指標し、入館受付、駐車場園路、景観、車椅子、ベビーカー、傘などの各種サービスを再点検しました。博物館へのニーズ、期待も刻々と変化しております。コロナ禍だから求められる博物館の役割は何かを探り続け、コロナウイルス感染防止対策を徹底し公開講座や普及事業を実施しました。

### (1) 博物館の社会教育事業

7月から再開したワークショップは「梅の枝で草木染」「木琴作り」「紙漉きと輪綴じメモ作り」冬の体験講座「クリスマスリース作り」「鬼の面作り」など6講座開催しました。

コロナ禍で博物館にあまり訪れない世代の参加や、親子での参加など利用層を広げるきっかけとなりました。しかし新型コロナウイルスの影響で3月の「桜餅作り」は飲食を伴うため中止せざるを得ない状態となり中止いたしました。

「看守長屋の年中行事」は網走刑務所看守長屋を会場に日本古来の伝統行事を再現し、博物館を訪れる全ての人を対象に実施。夏の七夕、秋の十五夜、正月絵馬作り、七草粥、鏡開き、節分、雛祭りとして7回の行事を行いました。

博物館で日本の風習や伝統行事に触れ、薄れかけた伝統や風習を再認識して頂くことを目的に開催しています。行事の様子を当館公式ツイッターで発信しました。

長期連続講座として網走刑務所の特徴である農業を主体に農園体験ワークショップを5月から11月まで9回にわたり開催する予定でしたが、三密対策が難しく中止し、職員で畑の管理、収穫を行いました。

(2)企画展は(1)5月から「文学に現れる網走刑務所前期」展を開催しました。

(2)8月から「文学に現れる網走刑務所破獄 吉村昭」展を開催しました。

### (3) イベント事業

ゴールデンウィークイベントは、5月3日～5日までイベント広場にて、重要文化財スタンプラリー、明治の子供遊び、竹馬検定、射的、竹トンボ、竹笛作り、豆わらじ作りの実施、友の会ボランティアによる紙芝居、餅つきと柏餅作りを行い来館者の皆様に柏餅の提供を行いました。9月の収穫祭は神輿担ぎと縁日など密になることが予想され中止いたしました。

#### (4) 博物館網走監獄友の会

博物館友の会は、監獄の歴史や建造物に興味のある方、博物館活動を支えるサポーターとして14年前から会員を募り現在個人会員50名、法人会員10法人が入会されています。5月の桜並木観桜会、7月中央道路二見慰霊碑清掃活動、10月重要文化財建物見守り隊活動、12月の鏡餅作りは実施しましたが、友の会会員が高齢なためコロナウイルス感染防止のため展示解説活動、研修旅行は中止しました。

#### (5) 解説事業

コロナ禍において、ソーシャルディスタンスが守れないため、中止している無料ガイドツアーに代わる博物館学習ワークブックを作成し、小・中高校の生徒さんに活用促進を行いました。小学校・中学校の修学旅行などで利用がありました。

### 3 展示建造物の維持管理並びに館内の環境整備を図る

保存公開する旧網走監獄建造物は木造構造で120年の時を経て劣化が激しいため、木造文化財を現状維持し、劣化を食い止めるため、管理部門においては、野外環境の整備並びに災害や積雪から建物を守るために日々従事しております。また、一日も早く建造物の耐震補強工事に取り組むことができるよう令和3年度は検討を始めました。建造物の耐震補強工事には20億を超える費用が見込まれるため、本年度の設備投資と管理にはより細やかに取り組み、既存固定資産の延命化を進めました。またランニングコストの見直しを進め、一部改修や可動時間の点検によりコスト削減に配慮して対応を進めました。

- (1) 文化財建造物の維持事業は、植樹より40年近く経ったトド松・エゾ松、白樺、イチイの木など支障木となり、建物の周りに覆いかぶさるなど文化財建造物には支障をきたしているので、支障木伐採作業並びに消毒作業を建物防火対策として実施いたしました。
- ② 文化財建造物の維持事業として今年の冬は積雪が多く、積雪荷重が建物に及ぼす影響を鑑み、重要文化財建造物屋根からの雪下ろし作業を業者に委託し行いました。
- (2) 博物館機能の充実事業として、野外農園風景の稲架け展示一部更新など既存固定資産の延命に取り組みました。
- (3) 館内設備安全対策事業として、歴史館入口へのゴムチップマット敷設をしました。
- (4) 防災対策事業として、来観者避難誘導のため緊急放送システムを設置しました。併せて緊急アナウンスの多言語化を進めました。
- (5) 環境整備、館内の景観整備事業として来館者を和ませる景観造り、宿根草花壇整備、敷地内樹木、緑地管理作業を周辺自然環境に配慮しながら行いました。冬期除雪対策は駐車場除雪を引き続き委託作業とし効率的な安全管理を進めました。

## 4 経営の安定を図るため入館者の確保と収益事業の強化

### 1・入館者の確保

令和3年も5月よりコロナウイルス第5波、第6波と増え続け、蔓延拡大防止策としての外出旅行自粛、海外観光客の入国制限などにより、コロナ以前に戻るような好調の兆しは見えず入館者目標には届きませんでした。令和3年度末入館者数は、131,889名(前年度比117.4%)となりました。コロナウイルス蔓延防止のため35日間の臨時休館、吹雪による2日間の臨時休館と団体ツアーの中止、海外からインバウンドの中止など、非常に厳しい状態となったためです。しかし、2月の流氷観光3月からGOTOが始まり道内の個人客が幾分戻ってきてくれましたが、15万人を下回る結果となりました。

入館者確保対策は、この数年ドラマ、バラエティに関わらずテレビ番組での露出の機会が多かったこと、特にゴールデンカムイ関係や格安航空ピーチによるインスタライブなどの配信などが施設知名度、興味度上昇に繋がり、コロナ禍でもこの人数を死守できたと考察できます。減少傾向が続く団体旅行誘致に係る旅行代理店への渉外活動については、コロナウイルス感染拡大防止により実施を見送りました。博物館無料ガイドツアー・カートツアーも中止しております。

- (1) 入館者数は131,889名(前年度比117.4%)、入館料収入は1億2千540万円となりました。
- (2) 個人型入館者誘致を目的とする情報発信手段としてインターネット・SNSの活用を推進し、ヤフーニュースにも取り上げられました。
- (3) テレビ・雑誌等のメディア取材に丁寧に対応し、北海道新聞・読売新聞全道面へ2回の掲載がありました。ドラマ、PV撮影等を積極的に受け入れ、また地域団体ひがし北海道DMOとの連携によるバスツアー、デジタルサイネージを利用した広域的な宣伝など施設の露出頻度、話題づくりを進めました。

### 2・収益事業の強化

入館者減少と臨時休館も伴い収益事業の運営は苦戦しましたが目標の売り上げを確保することができました。また令和2年度は公益事業から食堂事業への長期貸付金返済を猶予しましたが、令和3年度は返済を行うことが出来ました。物産館賃貸料の4ヶ月分の減免減額を引き続き行いましたが、公益事業法人事業への収益事業収入からの利益補填を今年度行うことが出来ました。

- (1) ミュージアムショップ売り上げ19,396,592円前年比118%
- (2) 監獄食堂売り上げ18,425,810円前年比126%
- (3) 賃貸料収入5,296,141円前年比92%

・ 処 務 概 要

1・役員等に関する事項

(1)就任状況等

令和4年度現在役員等

役 職 名	氏 名	当初就任年月日	就 任 年 月 日	担当職務	職 業
常勤理事	北野 清丸	平成28年8月1日	令和2年6月22日	理事長	財団役員
常勤理事	今野久代	令和2年11月25日	令和2年11月25日	事務局長	財団役員
理 事	新谷哲也	平成28年5月30日	令和2年6月22日		網走漁業協同組合組合長・会社役員 (漁業・不動産賃貸会社社長)
理 事	角幸博	平成28年5月30日	令和2年6月22日	博物館長	NPO法人役員・北海道大学名誉教授
理 事	大澤慶逸	平成28年5月30日	令和2年6月22日		元網走市副市長
理 事	吉田穂積	令和2年6月22日	令和2年6月22日		大学教授(東京農業大学)
理 事	本間弘哉	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(機械整備会社社長)
理 事	石川康弘	令和2年6月22日	令和2年6月22日		農 業
監 事	松井 丈	平成28年5月30日	令和2年6月22日		会社役員 (印刷会社社長)
監 事	中川大	平成24年4月1日	令和2年6月22日		会社役員(機械工具・配管資材卸小売 会社相談役)
評 議 員	藤原孝一	平成24年4月1日	令和2年6月22日		会社役員(測量設計・不動産会社社 長)
評 議 員	東義真	平成24年4月1日	令和2年6月22日		僧侶・幼稚園園長
評 議 員	松下伸次	平成24年4月1日	令和2年6月22日		会社役員 (ホテル社長)
評 議 員	小澤友基隆	平成28年5月30日	令和2年6月22日		会社役員 (バス会社社長)
評 議 員	新谷光 一	平成28年5月30日	令和2年6月22日		会社役員 (燃料会社社長)
評 議 員	土屋善治郎	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(建設会社社長)
評 議 員	白濱敏	令和2年6月22日	令和2年6月22日		団体役員(商工会議所専務理事)
評 議 員	木下研一	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(木材工業社長)
評 議 員	菊地美鈴	令和2年6月22日	令和2年6月22日		社会福祉法人保育園事務長
評 議 員	川瀬敏朗	令和2年6月22日	令和2年6月22日		弁護士法人オホーツク北斗代表